

私は日本共産党を代表しまして原発ゼロ基本法案の早期審議入りと成立を求める意見書案について賛成の討論をいたします。

福島原発事故から10年がたっても、いまだふるさとに戻れない被災者が多くおられます。原発周辺では山積みされたままの汚染土入りのフレコンパックが残ったままです。政府案の汚染水を海洋放出する案には多くの反対の声が上がっております。

この意見書にもあるように、菅政権は昨年12月、カーボンニュートラルに伴う成長戦略を策定しました。しかし、新型開発や原子力発電を推進、火力発電を温存するものとなっています。先日、水戸地裁にて東海第2原発の運転差止めを命じる判決が出ました。一つでも失敗すれば、事故が進展拡大し、多数の周辺住民の生命、身体に重大かつ深刻な被害になることになりかねないと示したのです。また、原発事故の要因となる自然災害の予測は確実に行えず、原子炉施設から放射性物質が周辺に放出されることのない絶対的安全性を確保することは、現在の科学技術水準をもって達成することは困難であると述べられました。

このところ、全国的に小さな規模から大きな規模まで、地震が相次いでいます。

原発はあるだけで危険なのです。その原発が日本中に存在しています。せめて止めて、早期に原発ゼロを行うことは待ったなしです。

よって、原発ゼロ基本法案の早期審議入りと成立を求める意見書案について賛成といたします。